

一般教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	登録販売者受験対策講座eラーニング+直前対策講座+全国公開模擬試験(会場)													
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) (② 通信 スクーリング(回数 2 回))													
指定講座番号	6	3	4	1	9	—	1	9	1	0	0	3	—	3
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間				過去一年の講座実績	入講者数(累積) (194 人)				修了者数 (2人)				
平成20年4月1日	平成34年 3月 31日まで													
訓練期間	11ヶ月					総訓練時間				時間				
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						登録販売者								
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						厚生労働省								
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						講座に関しての技術・知識習得を希望する者、技術の習得を基に各分野で自己実現をはかろうとする意欲のある者であれば、年齢・学歴・性別は問わない。								
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						薬剤師とならび医薬品の専門家として、ドラッグストアや薬局・薬店などで医薬品販売を行うことができます。コンビニエンスストアやスーパーマーケットなど異業種からの新規参入で活躍の場が広がっている。								
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)						時間		使用教材名						
医薬品に共通する特性と基本的な知識						3		登録販売者 受験対策テキスト						
人体の動きと医薬品①						3		登録販売者 手引き集						
人体の動きと医薬品②						3		登録販売者 WORK BOOK						
薬の働き・しくみ・症状から見た主な副作用						3								
かぜ薬、解熱鎮痛剤、眠気を促す(防ぐ)薬						3								
小児科鎮静薬、呼吸器官に作用する薬、口腔咽頭薬、うがい薬						3								
胃腸薬、浣腸薬、駆虫薬、						3								
強心薬、高コレステロール改善薬、貧血用薬、痔の薬、泌尿器用薬						3								
婦人薬、アレルギー用薬、鼻に用いる薬、眼科用薬						3								
皮膚に用いる薬、歯や口中に用いる薬、禁煙補助剤						3								
漢方薬、消毒殺菌薬、検査薬						3								
薬事関連法規と制度①						3								
薬事関連法規と制度②、医薬品の適正使用と安全対策						3								
医薬品の適正使用と安全対策						3								
直前対策セミナーDVD						6								
公開模擬試験(会場)						4								
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等						特になし								
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						知識の習得を基に自己実現をはかろうとする意欲のある者であれば、年齢・学歴・性別は問わない。								
③その他														